

一般社団法人 愛媛県生活衛生同業組合連合会
 公益財団法人 愛媛県生活衛生営業指導センター
 [理容・美容・クリーニング・興行・旅館・食肉・公衆浴場・中華料理]
 [料飲・すし商・食鳥肉・喫茶・社交飲食]
 松山市本町7丁目2 愛媛県本町ビル2F
 TEL(089)924-3305(代表) FAX(089)924-3304
 発行人/大森利夫



生衛えひめ

だより

第40回記念 愛媛県生活衛生推進大会(1面)
 高齢者にやさしいお店選び総選挙
 & 生衛店スタンプラリー(2面)



40回記念 生活衛生推進大会

「スタンプラリー」は高齢者の健康づくりや生衛業間の

第40回記念 愛媛県生活衛生推進大会は昨年11月11日、松山市内の松山市総合コミュニティセンター企画展示ホールで行われた。盛川育治中華組合理事長の開会の辞に続いて、挨拶に立った大森利夫連合会長は「愛媛県内における生衛13業種のめざす事業内容はそれぞれだが、超高齢社会への積極的な対応策は共通である。スタンプを集めての健康づくり(スタンプラリー)は、高齢者が家を出て生活衛生業店をめぐっての健康づくりにもなった」と、40回記念事業の趣旨にふれて組織力の重要性を語った。



前半の式典では、多年にわたる生活衛生業の発展、向上に尽くした人々に対しての知事表彰状が神野健二郎愛媛県保健福祉部長から、また連合会表彰、指導センター理事長感謝状が大森会長より渡された。



続いて受賞者を代表して、旅館ホテル組合の南山富左衛門さんが謝辞を述べ、その後実祝辞があり、中村時広知事、塩崎恭久衆議院議員、竹田祥一愛媛県議会議長、野志克仁松山市長と続いた(代理も含め)。塩崎衆議院議員は「街の中心地の空洞化を山間部の過疎の村に例えて、地域社会に密着した生活衛生業の役割は特に高齢社会には必要であり重要だ。」と今後の協力態勢を強調した。

その後、すし組合の猪谷英行理事長が大会宣言文を、喫茶組合の渡邊博幸理事長が決議文を朗読。さらには県内の生活衛生業者の発展を願って万歳三唱が社交組合の泉二正理事長の発声であり、谷口幸夫料飲組合理事長の閉式の言葉で式典を閉じた。当日の表彰者は次のとおり。

- ◇愛媛県知事 谷口幸
- 「理容」 曾根正
- 「美容」 矢野弘
- 「クリーニング」 クリー
- 「旅館業」 旅館
- 「中華料理」 中華
- 「料飲」 料飲
- 「社交」 社交
- ◇40周年記念 大森利夫

生衛業の交際費要望実現

全国生活衛生同業組合中央会

理事長 大森利夫



安倍晋三首相は、日本経済再生にむけた「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」を打ち出し、円高デフレ脱却、雇用や所得の拡大をめざしている。

全国生活衛生同業組合中央会(以下、「生衛業」と記す)理事長を務める私は税制改正の要望に、経済活性化には交際費が損金に認められることと、その陳情をくり返してきた。

大企業も上限なしの50%

その結果、昨年度は中小企業(資本金1億円以下)対象の800万円まで全額損金算入が認められ、今年度は税制改正大綱のまとめによると、私共要望の大企業も飲食費を対象として、交際費の50%までに上限は設けず税法上の費用(損金)として認められることとなった。

これにより企業の接待による景気の下支えが期待されると共に、生衛業には元気が取り戻すチャンス到来ともいえる。私共がめざすのは、経済の活性化による人々の明るい笑顔を取り戻すことである。少子高齢社会が進む中、難しいことではあるが、地域に密着した生衛業の「やる気」は街の元気につながる。

5. が、飲もい。か。の。よ。が。謝

たる生活衛生業
に対しての知事
保健福祉部長が
ンター理事長感
した。

旅館ホテル組合
を述べ、その後来
、塩崎恭久衆議
議長、野志克仁松
。塩崎衆議院議
山間部の過疎の
した生活衛生業
必要であり重要
理理事長が大会
幸理事長が決議
活衛生業者の発
組合の泉正理事
飲組合理事長の

我が国の経済は、景気回復の兆しが見えてきたと言われる昨今であるが、生活衛生関係業においては、依然として厳しい状況が続いているところである。特に、小規模企業が多い生活業にとって経営者の高齢化や後継者の確保問題など厳しい状況となっている。

このような中で、県民の日常生活と極めて密接な関係にある我々生活業は、衛生管理はもとより、創意工夫にあふれる取組みが求められている。特に、高齢社会を迎えた今日、地域高齢者が住みやすい街づくりに積極的に関与した「高齢者対応」は、社会的責務として考え、積極的に参画する必要がある。本大会は、「スタッフを集めての健康づくり」や「高齢者にやさしいお店選び」を行ってのアンケート調査を実施、高齢者の外出や健康づくりに絡めた、生活業のあり方について提言を行うこととしている。

今後は、経営体質の改善強化を図るとともに、社会貢献事業への参画、災害時における「共助」の精神で、地域に根ざした生活衛生業としての社会的使命の遂行に最大限の努力を行うものである。

平成25年11月11日
第40回記念 愛媛県生活衛生推進大会
以上、宣言する。

◆愛媛県知事表彰

- 「理容」鎌田光昭(今治)、谷口博雅(八幡浜)
 - 「クリーニング」内藤久善(松山)
 - 「興行」丹清光(松山)
 - 「旅館ホテル」新山富左衛門(松山)、二宮之(宇和島)
 - 「料飲」河上忠志(西条)、富田忠司(松山)、米澤長幸(大洲)
 - 「社交飲食」酒井ゆりえ(松山)
- ◆40周年特別表彰
- 「理容」藤井保(四国中央)、山本静(今治)、曾根正年(松山)、新山登(松山)、島田健三(松山)、矢野弘之(松山)、小川登(砥部)、井内旦(大洲)
 - 「美容」澁喜代子(久万高原)
 - 「クリーニング」住千明(新居浜)
 - 「旅館ホテル」稲澤洋(大洲)
 - 「中華料理」重松寿(松山)、清家幹広(宇和島)
 - 「料飲」森本やよい(新居浜)、森嘉代(松山)、谷口幸夫(松山)

◆県生活衛生連合会長表彰

- 「理容」山上文子(四国中央)、近藤正泰(今治)、長谷川善英(松山)、脇田裕之(松山)、井上定夫(宇和島)
 - 「美容」村尾志満子(新居浜)
 - 「クリーニング」大橋音充(松山)、上田敏雄(大洲)
 - 「公衆浴場」山下源春(宇和島)
 - 「旅館ホテル」岡部俊(新居浜)
 - 「料飲」森正治(松山)、大下育男(内子)
 - 「喫茶」二宮英士(松山)
 - 「社交飲食」仙波隆(松山)
- ◆「経営特別相談員功労」
県生活衛生指導センター理事長感謝状
「中華料理」長沼喜(松山)

望実現

中央会
大森利夫

度は中小企業(資本金800万円まで全額)れ、今年度は税制改正ると、私共要望の大企として、交際費の50%す税法上の費用(損ること)となった。の接待による景気の下と共に、生活業には元ンス到来ともいえる。、経済の活性化によるをとり戻すことであが進む中、難しいこと密着した生活業の「や」つながる。



今回の税制改正は、国や地方自治体は500億〜600億の減収が見込まれるが、地方や中小零細事業の活性化のため、飲食業に限るとなっているだけに、私どももその重みを受け止めなければならぬ。

この法案は、この年明け通常国会にはかられ決定をみて、4月より適用の予定。二年がかりの二連の流れ、そしてこの度の要望実現には、業界団体の結束はもとより、多くの関係者の並々ならぬ力添えがあればこそ、私は改めて深甚なる感謝の念を抱いているところである。

25年度各表彰受賞者

- ◆生活衛生功労旭日双光章
「料飲」谷口幸夫(松山)
- ◆厚生労働大臣表彰
「理容」藤田俊雄(宇和島)
- 「すし商」松本浩(四国中央)
- 「旅館ホテル」大木正治(松山)
- 「社交飲食」上田哲男(大洲)
- ◆厚生労働省健康局長表彰
「理容」仲岡芳(大洲)
- 「美容」手島千代子(西条)
- 「クリーニング」壺内光(今治)
- 「中華料理」篠原勲(松山)
- 「料飲」眞鍋芳憲(西条)
- ◆全国生活衛生同業組合中央会理事長表彰
「旅館ホテル」三好富太良(西宇和)
- 「理容」高橋明(西条)
- 「美容」合田久子(四国中央)
- 「料飲」二宮ケイ子(松山)
- ◆全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状
「中華料理」能見信彦(松山)
- 「料飲」井ノ口美通(伊予)
- 「旅館ホテル」藤原成(今治)
- 「食肉商業」青野仁志(西条)
- 「社交飲食」増岡静香(大洲)

生活衛生関係営業を営む皆さまへ 日本政策金融公庫 国民生活事業からのお知らせ

◆ **組合加入のお店は日本公庫が扱う生活衛生一般貸付よりも有利な振興事業貸付がご利用できます!**
お使いみちが振興特利設備の場合、利率が基準金利より0.9%低利「特別利率C」という制度が利用いただけます。

◆ **振興事業促進支援融資制度のご利用がさらにお得になります!**
振興事業促進支援融資制度を利用すれば、運転資金・設備資金ともに利率が0.15%引き下げとなります。
◇振興設備資金:特別利率Cよりさらに0.15%引き下げとなります。 ◇振興運転資金:基準利率より0.15%引き下げとなります。

※詳しくは、日本政策金融公庫県内各支店、または事業資金相談ダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。
※ご不明な点は、お近くの支店または事業資金相談ダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。

www.jfc.go.jp

事業資金相談ダイヤル (行こうよ!公庫) 0120-154-505

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業



喫茶「子やぎのさんぽ」と自慢のデザインカプチーノ

さらには、空間を広くとり、明るさを感じるのが特徴で、また幼児が遊ぶスペースもある。
食の内容(メニュー)について「注文に応じてアレルギー対応等にも心掛けています」と徳本渉店長は語る。
こだわりの「コーヒー、ヨーグルト、パスタ等が人気の喫茶店である。

「人にやさしいお店えらび総選挙」 グランプリ大賞は 喫茶「子やぎのさんぽ」

推進大会に先行して実施した「高齢者(人)にやさしいお店えらび総選挙」は、1778票の応募があった。その中で86票を獲得し、グランプリ大賞に選ばれた松山市溝辺の喫茶店「子やぎのさんぽ」は、幼児から高齢者までに配慮、段差をなくし、テーブル、椅子などの角をとり、柔らかい材質使用のお店である。

外出が楽しくなるヘアスタイル



理美容師によるお孫さんと外出が楽しくなるヘアショー

生活衛生業の高齢者にやさしい取り組み事業を中心とする後半第一部のオープニングは、理美容師による、お孫さんとの外出が楽しくなる髪型提案のヘアショーで始まった。
また、昼食会では料飲すし喫茶それぞれが提案する塩分控えめで低カロリーの内容での試食が、和やかな雰囲気の中で行われた。多忙な中、急遽駆けつけた野志克仁松山市長は、高齢社会に対する生活衛生業への期待や、自らのヘアスタイルづくりについてを、ユーモアも加えてのスピーチに大きな拍手を得ていた。続いての乾杯の発声では河田正道南海放送(株)社長が、大森会長著書「旅ごころ」の俳句「理むるは情と決断花は葉に」を例にあげ、リーダーの思いを述べ、大森会長の出版に対して賛意をおくっていた。



その後、高齢者が愛媛県内の生衛店をめぐり、スタンプを集めての「スタンプラリー」応募者(総数2066通)の中より100名を選ばず抽選会や、同時に実施された高齢者や人にやさしい生活衛生業店(県内約4000店)を選ぶ総選挙の発表があり、喫茶「子やぎのさんぽ」(松山市)が、投票された1778票のうち86票でグランプリ大賞に輝いた。バリアフリーの施設部門については、中華料理「とことん興」(砥部町)が選ばれた。
なお、この事業についてのアンケート調査(部抜粋、別記載)などは、これからの生活衛生業関係の営業に役立つことになりそうだ。

BOOK 本 ベストセラー

『旅ごころ』 10名にプレゼント

大森敬夫(利夫)著、出版社:三交社

昨年10月発売した大森会長著「旅ごころ―芭蕉になりたい」は明屋書店(全国82店、本社松山市)ベストセラーランキングで2週連続トップ。また、通販サイトAmazon(アマゾン)でも2位まで上がり、現在増刷中!!です。
この「旅ごころ」を抽選で10名様にプレゼントします。
◇応募先 / 〒790-0811 松山市本町7丁目2 愛媛県本町ビル2F 愛媛県生活衛生連合会
「旅ごころ―芭蕉になりたい」係 まで
◇応募締切 / 平成26年1月末日
◇当選者 / 発送をもって代えます。

「BOOK」データベースより
「俳句は説明をきらう」しかし著者が旅した北海道から沖縄までのご当地俳句、さらには海外、また境涯、辞世の句に写真まで付けて、誰にもわかりやすくまとめている。

高齢者 人にやさしい試食会

大森会長は「バリアは、大型店舗は、が、小規模店舗ではだ。ハード面ソフト力を注ぎたい」と話式典、また高齢社閉会の挨拶で幕を



高齢者にやさしい試長会



塩分ひかえめの健康食メニュー



(左) 野志松山市長を囲んで(右) スタンプラリー応募者への2,000円利用券のあたる抽選会

進めたい：
大森会長
バリアフリーを

大森会長は「バリアフリーを心がけた店舗づくりは、大型店舗は法的な理由もあって進んでいるが、小規模店舗では手がつけられていないのが現状だ。ハード面ソフト面を含めて、この事業の推進に力を注ぎたい」と話している。
式典、また高齢社会への対応策と二部構成で行われた記念大会は旅館ホテル組合大木正治理事長の閉会の挨拶で幕を降ろした。

◇応募先 / 〒790-0811 松山市本町7丁目2
愛媛県本町ビル2F 愛媛県生活衛生連合会
「旅ごころ—芭蕉になりたい」係 まで
◇応募締切 / 平成26年1月末日
◇当選者 / 発送をもって代えます。

「BOOK」データベースより
「俳句は説明をさらう」しかし著者が旅した北海道から沖縄までのご当地俳句、さらには海外、また境涯、辞世の句に写真まで付けて、誰にもわかりやすくまとめている。著者の創造力と行動力を示す、新しい俳句である。
★★★★ 表紙がイイですね。
すばらしい多くの句に感動しました。外界の刺激や印象を感じると心の優美で豊かに引き込まれました。特に、199ページの「錦秋や亡き父母とゆく二重橋」には…。また、ハワイでの「えひめ丸」事故の句には、何度読んでも胸一杯になります。
—この本について「読者のたより」



高齢者と生活衛生業による スタンプを集めて健康づくり「スタンプラリー」 & 高齢者にやさしいお店選び「総選挙」

今後に
活かしたい
アンケート
集計



連合会加盟店ステッカー

愛媛県生活衛生指導センターは、生衛推進大会で求めた「高齢者にやさしいお店えらび総選挙」、「生活衛生スタンプラリー」に対するアンケート結果をまとめた。

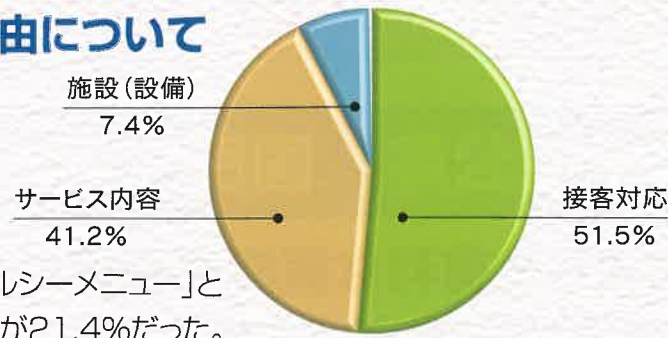
「お店えらび総選挙」は、投票された1178票から、選んだ理由が明確と判断したものを抽出。

◇お店を推薦した(選んだ)理由について

1、接客を理由にした51.5%の具体例は
○店員のやさしい声 ○笑顔
○活気 ○親切 等々となっている。

2、提供するサービス内容について
「やさしい味付け、おいしい」が57.2%、「ヘルシーメニュー」と「素材がよい」がそれぞれ10.7%、「その他」が21.4%だった。

3、「お店の施設(設備)について」は、7.4%がお店の広さやスペースのゆとりを一番に、またバリアフリー化をもあげている。
バリアフリーについては、大型店舗に比べて小規模な生活衛生業関係は、現実評価の低さ懸念をしめすこととなっている。
※お客さまに選ばれるお店経営には「心くばり」「サービス内容の充実」「バリアフリー化を含めての空間の工夫」などが大切となっている。



◇生活衛生スタンプラリーについて

「生活衛生スタンプラリー」の応募者2066通の声を要約すると、
1、「外出のきっかけ」や「健康づくり」の一つになったと思うか(5段階評価)
※生衛業間の絆づくり効果は考えられるが「高齢者の健康づくり」への期待は継続が求められているものとする。

項目	割合
評価5	15.1%
評価4	19.8%
評価3	36.8%
評価2	16.0%
評価1	12.3%
計	100.0%

2、生活衛生連合会加盟店ステッカーはわかりましたかの問いには、分かりやすい18.7%、普通・わかりにくいを合わせると81.3%であった。このことは今後の活動の中で、組合加入の促進の必要性や、利用者(消費者)に対する安心・安全をアピールする連合会加盟店の識別表示を一考すべきと言える。なお、生活衛生業への要望として、「この企画を分かりやすくして続けてほしい」「バリアフリーのお店を増やしてほしい」との声なども寄せられている。